

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ムトー精工株式会社  
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇  
 (氏名) 金子 貞夫

TEL 058(371)1100

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,904	△21.6	△303	—	△284	—	△274	—
26年3月期第1四半期	6,259	6.1	28	△77.8	137	7.4	107	106.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △506百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 461百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△38.20	—
26年3月期第1四半期	14.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	21,632	13,232	57.5
26年3月期	22,472	13,796	57.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 12,445百万円 26年3月期 12,972百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,900	△3.6	250	129.9	220	△1.4	170	△12.7	23.65
通期	23,200	△6.1	620	273.4	560	52.4	400	53.3	55.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	7,739,548 株	26年3月期	7,739,548 株
27年3月期1Q	552,485 株	26年3月期	552,410 株
27年3月期1Q	7,187,113 株	26年3月期1Q	7,206,505 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度に続き、円安・株高や輸出企業の収益改善などに支えられて、緩やかに回復しております。その一方で、円安やイラク情勢の緊迫化による原油・原材料高や、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、物価の上昇や個人消費の減少がみられました。

世界経済は、緩やかな景気回復が続く米国や欧州等の先進国を中心に回復しております。しかし依然として、欧州の債務問題や新興国経済の動向、ウクライナ情勢、南シナ海における領有権問題など、景気悪化が懸念される国外情勢が続いております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、スマートフォンやタブレット端末向け部品の生産・出荷が増加傾向にあります。しかし、ソフトウェアのサポート期限切れによる更新需要がピークを迎えたため、パソコンの国内販売・輸入は減少に転じました。自動車関連においては、増税前の駆け込み需要の反動により国内販売が大きく減少しましたが、米国景気の回復や為替相場の影響で、輸出は増加を続けております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、付加価値の低下や受注量の減少、ムトー(タイランド)の稼働遅れの影響等により、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は49億4百万円と前年同四半期と比べ13億5千5百万円(21.6%)の減収、営業損失は3億3百万円(前年同四半期は2千8百万円の営業利益)、経常損失は2億8千4百万円(前年同四半期は1億3千7百万円の経常利益)、四半期純損失は2億7千4百万円(前年同四半期は1億7百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、好調な自動車販売を背景に、自動車関連部品が堅調に推移しているものの、高性能なスマートフォンの普及により、デジタルカメラやビデオカメラ関連部品の生産は依然として低迷しており、また、前期まで好調に推移した電子ペン関連も昨年末より減少傾向となっております。その結果、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて43億3百万円と前年同四半期と比べ13億1千1百万円(23.4%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2億7千万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)4千6百万円)となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、引き続きデジタルカメラの販売が減少傾向にある中、モデルの切り替わり時期と重なり低調に推移いたしました。他業種への受注活動を積極的に実施し、翌四半期以降よりカメラ以外の売上が付加されていく見込みとなっております。当四半期におきまして、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5億5千9百万円と前年同四半期と比べ4千7百万円(7.8%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は4千1百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2千4百万円)となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計業務にて、パソコン等の電子機器に使用される高密度の電子回路基板(パッケージ基板)の配線設計は、前期中からの積極的な受注活動により、新規顧客から受注を確保し順調に推移いたしました。検査業務におきましては、遊技機に使用される電子基板の検査が順調に受注を確保したものの、全般的に減少となりました。その結果、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて7千7百万円と前年同四半期と比べ3百万円(4.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は8百万円と前年同四半期と比べ1百万円(16.1%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億8千8百万円減少し、119億9百万円となりました。現金及び預金が3億4百万円、受取手形及び売掛金が2億4千2百万円それぞれ減少し、仕掛品が1億2千3百万円増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億5千1百万円減少し、97億2千2百万円となりました。有形固定資産が3億8千5百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億3千9百万円減少し、216億3千2百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5千2百万円減少し、58億6千9百万円となりました。賞与引当金が4千9百万円、未払法人税等が2千5百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億2千3百万円減少し、25億3千万円となりました。長期借入金が2億3千2百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億7千5百万円減少し、84億円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億6千3百万円減少し、132億3千2百万円となりました。利益剰余金が3億3千2百万円、為替換算調整勘定が2億7百万円それぞれ減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想(第2四半期(累計)、通期)及び配当予想(第2四半期末、期末)につきましては、一部の受注案件の生産開始が第2四半期連結会計期間以降にずれ込んでおり、平成26年5月9日にて公表いたしました「決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,443,112	4,138,393
受取手形及び売掛金	3,882,031	3,639,343
電子記録債権	376,871	431,025
商品及び製品	859,309	852,592
仕掛品	752,327	875,573
原材料及び貯蔵品	1,269,004	1,221,505
未収入金	431,461	419,661
繰延税金資産	52,689	61,034
その他	331,995	271,253
貸倒引当金	△447	△447
流動資産合計	12,398,356	11,909,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,989,358	2,894,338
機械装置及び運搬具(純額)	3,770,265	3,513,111
土地	1,528,380	1,524,752
建設仮勘定	80,846	92,125
その他(純額)	882,452	841,220
有形固定資産合計	9,251,304	8,865,549
無形固定資産	283,900	271,957
投資その他の資産		
投資有価証券	324,562	359,434
繰延税金資産	276	78
その他	217,114	228,710
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	539,067	585,339
固定資産合計	10,074,272	9,722,846
資産合計	22,472,629	21,632,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,314,396	2,436,157
短期借入金	1,471,618	1,506,129
1年内返済予定の長期借入金	928,440	928,440
未払法人税等	48,770	23,049
賞与引当金	183,095	133,122
その他	975,617	842,816
流動負債合計	5,921,938	5,869,716
固定負債		
長期借入金	2,356,611	2,124,501
繰延税金負債	34,033	35,973
役員退職慰労引当金	183,333	187,053
退職給付に係る負債	167,370	172,186
その他	13,081	11,055
固定負債合計	2,754,430	2,530,771
負債合計	8,676,368	8,400,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	9,363,043	9,030,991
自己株式	△397,587	△397,632
株主資本合計	13,390,128	13,058,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,611	51,027
為替換算調整勘定	△455,875	△663,070
その他の包括利益累計額	△417,264	△612,042
少数株主持分	823,396	786,304
純資産合計	13,796,261	13,232,294
負債純資産合計	22,472,629	21,632,781



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,259,688	4,904,524
売上原価	5,424,777	4,465,289
売上総利益	834,911	439,234
販売費及び一般管理費	806,034	742,681
営業利益又は営業損失(△)	28,877	△303,446
営業外収益		
受取利息	5,032	8,528
受取配当金	2,823	3,284
為替差益	83,690	6,908
その他	26,720	9,681
営業外収益合計	118,267	28,402
営業外費用		
支払利息	9,071	9,293
その他	324	-
営業外費用合計	9,396	9,293
経常利益又は経常損失(△)	137,748	△284,337
特別利益		
固定資産売却益	493	145
特別利益合計	493	145
特別損失		
固定資産除却損	8,327	205
投資有価証券売却損	-	450
特別損失合計	8,327	655
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	129,915	△284,848
法人税等	29,095	13,059
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	100,819	△297,908
少数株主損失(△)	△6,423	△23,353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107,243	△274,555

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	100,819	△297,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,409	12,416
為替換算調整勘定	374,191	△220,932
その他の包括利益合計	360,782	△208,516
四半期包括利益	461,602	△506,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,537	△469,332
少数株主に係る四半期包括利益	37,064	△37,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,606,631	583,326	69,729	6,259,688	—	6,259,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,818	23,253	4,235	36,307	△36,307	—
計	5,615,450	606,580	73,965	6,295,996	△36,307	6,259,688
セグメント利益又は損失(△)	46,315	△24,852	7,414	28,877	—	28,877

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,288,224	542,536	73,763	4,904,524	—	4,904,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,610	16,499	3,242	35,353	△35,353	—
計	4,303,834	559,036	77,006	4,939,877	△35,353	4,904,524
セグメント利益又は損失(△)	△270,805	△41,251	8,610	△303,446	—	△303,446

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。